

武田 利一 様

2013.6.27

林 和英

「精神指導の規則」(デカルト著野田又夫訳
 岩波文庫)は昭和49年に改訳され、ページ
 数がちがっていました。もうしわけありません。
 規則第十六は、P.123~P.128で、
 「実をいうと私自身も、かかる名称に長い間
 欺かれていた。」はP.125にあります。

昭和19年のあとがきは昭和49年の解説
 に書き直されています。「デカルト」(野田
 又夫著岩波新書1966年)のP.62~P.7
 0で「精神指導の規則」について書いてあり
 ます。

あとがきより、少し引用します。

「数学をば自然学のごとくに存在論の体系中
 に入れずして常に方法としてのみ理解した点
 は、注目に値する。」

「デカルトの求めるのは、現れ出るすべてに
 対して正しい判断を下す能力すなわち良識に

外ならず、それに達する方法の本領も理論になくて実行にある。それで、(略)つねに自己を語るのである。」

「近世の解析の理念の誕生を告白体の文字の中に読み、空間と数との関係がギリシャ的な考え方を破って動き出した点に心惹かれるが、実際その後の学者達はデカルトの魅力圏内で豊かな形態を次々に生み出したのである。」
実践の手引書として読む本であることを強調しています。

豊明市内にあるモニュメントに書かれました。

平わと融わを 豊明から

紺碧の大空より 世界のわへ

CN 15周年記念 1990

豊明ライオンズクラブ